

■ 1年生 ■■■■

中学校に入学して3ヶ月が経ちましたが、本当にあっという間でした。特に部活動は、僕が一番楽しみにしていた活動で、見学した時から先輩方がとても生き生きと活動していたので、自分も早く部活動に参加してみたいなという気持ちでいっぱいでした。そして、いざ入部してみると、厳しいトレーニングもたくさんありましたが、先輩方のプレーを見て、上手になりたいという気持ちがさらに強くなりました。これからがんばりたいです。

日常生活では、新しい友達もたくさんできたり、授業ごとに違う先生の話聞くことができたりと、毎日がとても新鮮でした。僕が想像していた以上に中学校生活は楽しく充実したものでした。2学期も自分から進んで、積極的に行動していきたいです。

そして、学年全体を振り返ると、はじめは学校生活のリズムに慣れることに精一杯でしたが、今ではそれぞれの学級の活動を普通にこなせるようになりました。また、新しく出会った仲間とも時間が経つにつれて、仲良くなることができました。最近では、仲間のために行動できる人も増えてきました。これからも集団の質を高めていけるように一人一人が意識していきたいです。しかし、まだ学年全体での課題点もあります。例えば時間を守ること、けじめをつけること、人の話を集中して聞くことなどです。課題点については日々の仲間との高め合いの中で改善していきたいです。

1学期は無事ほとんどに人が好スタートを切ることができました。この調子で1学期に得たものを、2学期につないでいきたいです。

■ 2年生 ■■■■

私は、1学期はとても楽しかったと思います。最初は、新しいクラスになって、あまり話したことの無い人と話せるようになるのか、うまくクラスになじめるかなど、不安もたくさんありました。しかし、思っていたよりもみんなすぐに自分のクラスになじんでいると思いました。今思うと、とてもあっという間の1学期でした。

2年生の良いところはたくさんあります。1つ目は、男女関係なく仲が良いということです。休み時間は男女混ざって遊び、レクなどもみんなです楽しむことができます。

2つ目は、1人1人が意見を持ち、それぞれの個性がしっかりあるということです。1人1人の個性があるということはとても大切なことだと思います。これからも誰かの意見だけではなく、2年生全員の意見を尊重できるようにしていきたいと思います。

3つ目は、いざとなったら良い結果を出せるということです。最近何かたろんでいるなと思うことがあったら、しっかりと自分たちで気づいて、話し合っ、全員が納得するような結果を出せています。でも、今は最終的に良い結果が出せているので、次からは始めからみんなで良い結果が出せるようにしていきたいと思います。

2年生には、今あげたように色んな良い所があります。ですが、1学期を終えて、いくつかの課題も見えてきました。1つ目は「差」があるということです。勉強の差、全力でやる人とやらない人の差、発言

をする人としらない人の差など、多くの差が見られました。差があると、学年全体のまとまりがなくなったり、全員が過ごしやすいと思える環境が作れなかつたりすると思います。だから、これからはもっと1人1人の意見をきいて、差をなくし、みんなが良いと思える環境づくりをしていきたいと思っています。

2つ目は、気づいても注意できないということです。現状は、差があるなどの課題や、あまり良くないと思う行動にほとんどの人が気づいていました。ですが、それに気づいて注意をする人や声かけをする人はあまりいませんでした。気づいたことはどんどん注意したり、行動したりしないと何も変わらないと思います。だから、なんでも言い合えるような環境をまず作っていききたいです。

私たち2年生には、良い所も悪い所もあります。全員が楽しめる環境をつくるために、良い所はもっと増やし、悪い所は少しずつ減らしていけるようにしたいと思っています。

■ 3年生 ■■■■

最高学年となり、早いものでもう1学期を終わろうとしています。1学期は学年として声かけをする人が去年よりも増えました。これはよくなってきたことの一つです。授業開始時間前に「時間だから座って」と声をかける人、それをつないでまた声をかける人、それを受け入れて急いで着席をする人など、声をかけ合うことで時間を守り、余裕を持って授業を始めることができました。修学旅行でも、それぞれの係や気づいた人が積極的に声をかけ合って、時間をしっかりと守ることができました。修学旅行を通して、学年の団結が深まり、4日間で大きく成長できたように思います。

また一方で、学年全体の課題も見えてきました。一部の人しか声かけができていないことです。また、授業が始まってから必要なものを取りに行ったり、忘れ物をしたりする人がいます。それを防ぐには、自分の行動について考えて、事前にしっかり準備をし、人任せにせず動くことが大切だと思います。

このような行動は輝桜祭の取り組みにもつながってきます。一人でも人任せにすることで、全員が作り上げてきたものが壊れてしまいます。58人全員が協力し、全力で作ったものを輝桜祭で発表できたらと思います。

受験まで半年あまりとなりました。受験は団体戦と言うように、それぞれの志望校に受かるように、お互い切磋琢磨し、充実した夏休みを送れたらいいなと思います。そして、2学期には輝桜祭や合唱発表会など、中学校生活最後の行事や日常生活を悔いのないように頑張りたいと思います。

■ 生徒会 ■■■■

もう、今年度の1/3が終わろうとしています。みなさんはクラスで自分の個性を生かしているでしょうか。執行部からは、この1学期に大きく分けて2つのことを行わせていただきました。

1つめは生徒総会です。今回の総会では生徒会スローガン「星（スター）」、3つの柱「環境・自立・貢献」のテーマが可決されたわけですが、みなさんはそもそもどうして生徒総会を行ったのか覚えているでしょうか。それは、これからみんなで同じ目標に向かって頑張っていくためです。だから、少なくとも生徒総会を行った時点では、みんな「星」にもなれていないし、それができるかはこれからのみなさん次

第ということになります。逆に言えば、みなさん次第ではこの目標を超えることもできるということです。今年の総会では例年に比べ、質問・要望・修正・呼びかけともに多く、活発な意見が飛び交っていました。その中でも1 Aから出た「行動目標3 貢献の3つの『あい』を4つの『あい』にしよう」という意見は、修正意見として可決されなかったものの、『教えあい』も『高めあい』もどちらも捨てられない、という考えが感じ取れて素晴らしかったです。それらの意見も意識して、ぜひ「口だけ」ではなく「目標を超える」ようにしてほしいと思います。

もう1つは輝桜祭のサブタイトル・テーマソング決定のことです。応募してくれたものは、どれもみんなのやる気が出るようなもので、また輝桜祭でどうありたいかをしっかりと表現してくれていました。テーマソングは投票で決め、サブタイトルは執行部で悩みに悩んだ末、「1 6 3 (ボくら)の輝きは夢限大!!」にさせていただきました。このサブタイトルのとおり、自分の持つ個性やアイディアの無限の可能性を輝桜祭に活かしてもらいたいと思います。しかし、中にはまだ個性が見つからないという人もいるのではないのでしょうか。そんな人は、今の自分の長所が個性だと思っているのではありませんか。確かにそれもそうなのですが、執行部のイメージとしては、まず環境をつくり、そして自立・貢献をしていくことで、一人一人が「星」になる。つまり、自立・貢献、自分を知り、仲間を自分から助けていく中で、個性が見つかると考えています。3つの柱を意識し、自分の個性、仲間の個性を見つけていきましょう。

2学期には輝桜祭、合唱発表会と大きな行事がたくさんあります。3つの柱の中でも自立と貢献は仲間を親に見立てるなどして、家でもできると思います。夏休みにだらけすぎずに、忙しい2学期に備えておきましょう。